

入学式式辞

72名の新入生の皆さん、入学おめでとうございます。村上第一中学校は、全校生徒・全職員で皆さんの入学を心より歓迎いたします。

さて、村上第一中学校は、その名の通り地域に誇れる歴史と伝統をもつ学校です。令和8年度の今年、創立57年目を迎えました。皆さんの後ろに座っている先輩方をはじめ、これまで1万2千名を超える卒業生が、この伝統を代々受け継いできました。

今日から皆さんも「一中生」です。当校では、生徒会を中心に、生徒が主体となって学校をつくってきたという誇りがあります。生徒自身が話し合い、活動を見直し、よりよい学校を目指して改善していく精神を大切にしてきました。

令和8年度の生徒会スローガンは『和』(なごむ)です。これは昨年度の卒業式後、新3年生と新2年生のリーダーが、生徒会を中心とした研修会の中で考えたものです。「人と人とのつながりや思いやりを大切に、穏やかで居心地のよい学校を目指したい」という思いが込められていると聞いています。

こうした生徒の自主性は、学習はもちろん、学校行事など、あらゆる場面で主体的に全力で取り組む姿として表れています。先輩たちの姿は、皆さんにとって大いに手本となることでしょう。先輩から学び、ともに活動する中で、名実ともに自信と誇りをもった「一中生」へと成長してくれることを期待しています。

当校が目指す生徒の姿は三つあります。

一つ目が、「向上心を持って挑み続ける生徒」です。

この姿に近づくためには、慎重になりすぎず、まずは一步を踏み出すことです。中学校では教科担任制となり、授業ごとに先生が変わります。生徒会活動もあり、異なる小学校から来た仲間との新しい出会いもあります。自分から積極的に行動してみましょう。また、授業と同じくらい家庭での自主学習も大切です。家庭学習の習慣がある人は1日2時間を、まだの人は1日70分を目標に、予習・復習に取り組む習慣を身に付けてください。

二つ目は、「自分で考え、責任を持って行動する生徒」です。

このためには、冷静に自分を見つめ、誘惑に負けそうなときに踏みとどまらせてくれる「もう一人の自分」を育ててください。人生の主演は自分自身です。できないことを他人のせいにしては、自分を変えることはできません。将来、後悔しないためにも、自分の生き方に責任をもてるよう、心を磨いていきましょう。

三つ目は、「自他を尊重し、協力し合う生徒」です。

自分の良さや弱さを理解することが、他者を思いやる心につながります。他者の良さや弱さを認め、自分を大切にすると同じように相手を大切にすることが、人間関係を築く力を育てます。よりよい関係を築くためには、仲間と協力して物事を成し遂げる経験が欠かせません。意識して協力する活動に参加してみましょう。

最後に、保護者の皆様、お子様のご入学、誠にありがとうございます。制服に身を包み、いよいよ中学生となるお子様の成長した姿をご覧になり、喜びもひとしおのことと拝察いたします。一方で、思春期を迎える子どもたちです。環境の変化に伴い、様々な不安や心配もおありかと思えます。その不安を安心へ、心配を信頼へと変えられるよう、私ども職員一同、最善を尽くすことをお約束いたします。保護者の皆様には、今後とも御理解と御協力を賜りますようお願い申し上げます。